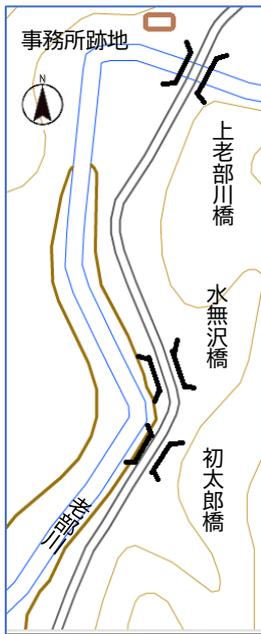




六ヶ所村の魅力を発掘・発見・発信！

## 新たな橋脚の穴を見つけました！

6月2日に、6月8日に「森林鉄道ツアー」するための実地踏査を、二又地区の秋戸淳一さんと秋戸操さんと一緒に行いました。今から70年前の橋建設の写真に写る「老部川上流の橋（通称カク橋）」は、現在のどの橋なのか、わからないでいました。今回、橋の特定のための調査となりました。



出典:国土地理院地図一部加筆

二又貯木場から約4km上流にあった尾駁山伐木（ばつぼく）事務所までの3つの橋と終点地点の特定ができるか調査しました。現在のコンクリート製の橋の下の川底に穴があるのを、秋戸淳一さんが見つけました。次々と橋の下にある穴を見つけていく淳一さん。これまでは、事務所前の上老部川橋の支柱や穴は3年前に見つけていましたが、まさかその他にも、残っているとは考えてもいませんでした。しかし、淳一さんは、「橋があれば、その下を見よ！」と悟りを開いたように、一つ一つ橋の下の川底に下りて行っては、橋脚の柱を支えた穴を見つけていきました。やっと見つけました。



上老部川橋 木柱穴が計5基、柱が4本残存。枕木の一部も確認。



水無沢橋



水無沢橋 木柱穴3基と木柱

約1,600万年前の固い鷹架層の川底に、約70年前の橋の支柱の穴が残っていました。



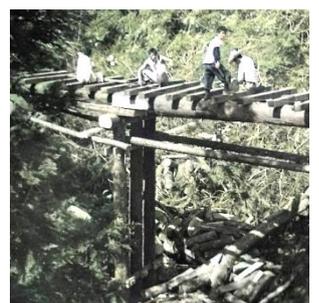
初太郎橋



初太郎橋 木柱穴3基



水無沢橋で、奥に初太郎橋が見える(左慶典さん)



支柱が3本で、初太郎橋か？